

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 31' 7.80"	
				経度	136° 14' 59.70"	
北川橋 (フリガナ)キタウハシ	川合川西1号線	滋賀県長浜市木之本町川合				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
長浜市	2017.11.1	河川:高時川	有	一般道	その他	-

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	措置後の判定区分	変状の種類	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	I				
	横桁	III	腐食 防食機能の劣化 変形・欠損・その他 横桁01 写真1 斜材04,06 写真2,3 吊材19 写真4 横構01 写真5			
	床版	I				
下部構造	I					
支承部	I					
その他	II	ゆるみ・脱落 腐食 防食機能の劣化	防護柵02 写真6、7			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
III	メインケーブルに、表面的な腐食及び局所的な素線切れ及び、吊材に溶接部の開口が確認される。これらの損傷は、橋全体の健全性に大きく影響し、振動や伸縮の繰り返し加担することで破断に繋がり、重大事故を引き起こすことが懸念される。よって、橋梁構造の安全性の観点から、健全度はIIIとする。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1950年	44.6m	2.00m

終点



起点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p style="text-align: center;">上部構造(横桁)【判定区分: Ⅱ】</p> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>写真1 横桁01 腐食・ 防食機能の 劣化</p> </div> <div style="flex: 2;">  </div> </div>	<p style="text-align: center;">上部構造(斜材)【判定区分: Ⅲ】</p> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>写真2 斜材04 主ケーブルの 損傷</p> </div> <div style="flex: 2;">  </div> </div>
<p style="text-align: center;">上部構造(斜材)【判定区分: Ⅲ】</p> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>写真3 斜材06 主ケーブルの 損傷</p> </div> <div style="flex: 2;">  </div> </div>	<p style="text-align: center;">上部構造(吊材)【判定区分: Ⅲ】</p> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>写真4 吊材19 主ケーブルとの 接合部の損傷</p> </div> <div style="flex: 2;">  </div> </div>

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(横構)【判定区分: Ⅱ】	その他【判定区分: Ⅱ】
<p data-bbox="116 486 264 638">写真3 横構01 腐食・ 防食機能の 劣化</p> 	<p data-bbox="1126 518 1283 606">写真4 防護柵02 ゆるみ・脱落</p> 
その他【判定区分: Ⅱ】	【判定区分: 】
<p data-bbox="116 1109 264 1260">写真5 防護柵02 腐食・ 防食機能の 劣化</p> 	

点検調書(その1) 橋梁の諸元と総合検査結果

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

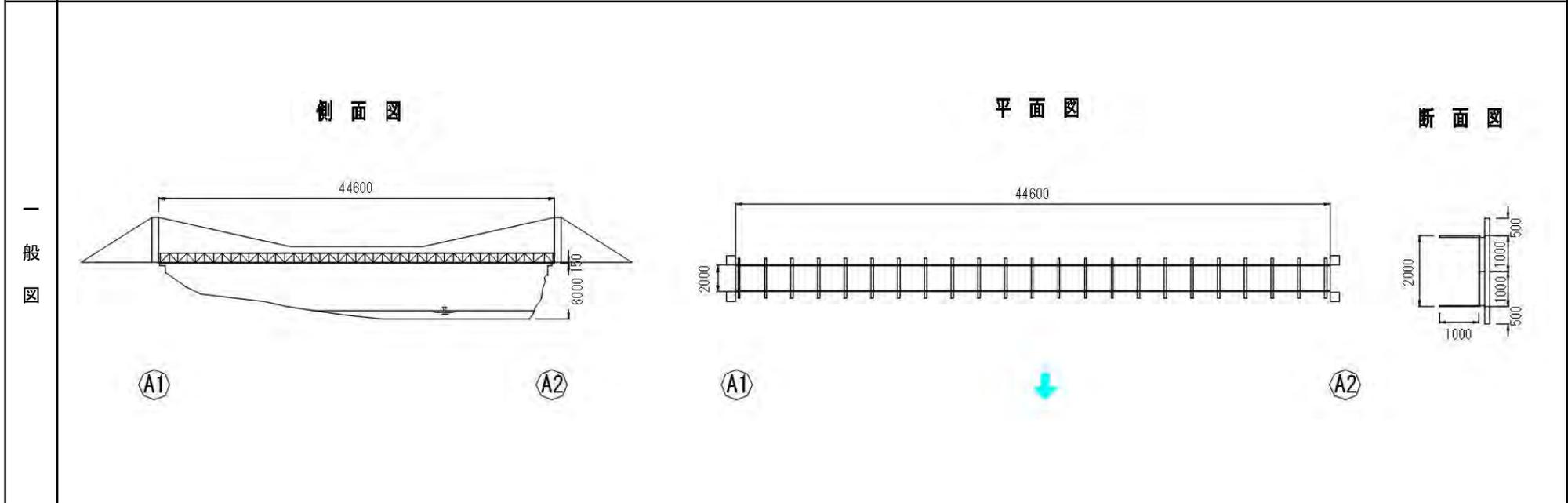
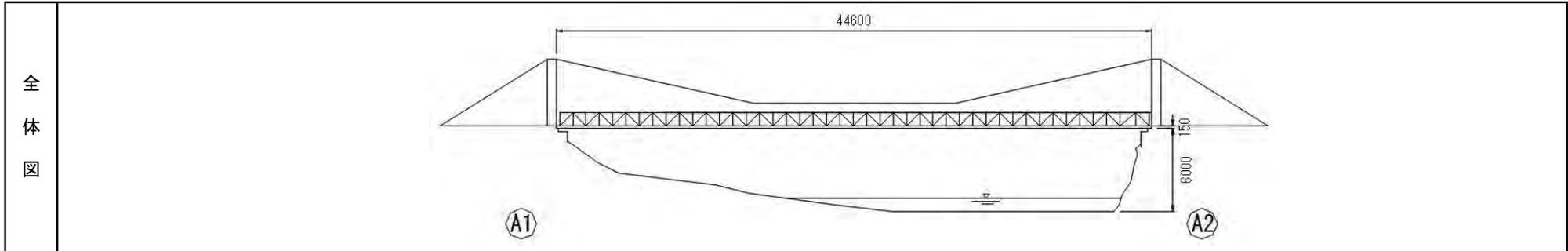
フリガナ 橋梁名	キタガワシ 北川橋	路線名	川合川西1号線			橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自	管轄	調査更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日

供用開始日	1950年	橋長	44.6m	活荷重・等級	-			適用示方書	-					調査年			
上部構造形式	鋼橋_吊橋			幅員	全幅員	2.00m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	歩道幅	地覆幅	中央帯	中央分離帯	交通条件	台	
					有効幅員	2.00m			2.00m	1							屋間12時間
下部構造形式	重力式橋台2橋			備考												大型混入率	%
基礎形式	直接基礎															荷重制限	t

総合検査結果	<p>【橋梁の特徴】 本橋梁は、竣工から68年経過している吊り橋である。郊外の高時川上流に架設されており、幅員2.0mの人道橋である。交通量は、極めて少ない。</p>	<table border="1"> <tr> <td>健全度 (橋単位)</td> <td style="text-align: center; color: red;">Ⅲ</td> </tr> </table>	健全度 (橋単位)	Ⅲ
	健全度 (橋単位)		Ⅲ	
<p>【損傷の評価】 横桁(他):Ⅲ 床版:Ⅰ 下部構造:Ⅰ 支承部:Ⅰ その他:Ⅱ</p> <p>横桁(他):横桁、下横構に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。</p> <p>メインケーブルに、表面的な腐食及び局所的な素線切れが確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響が原因であり、斜材の腐食は橋全体の健全性に大きく影響し、振動や伸縮の繰り返し加担することで破断に繋がり、重大事故を引き起こすことが懸念されるため、速やかに補修を行うことが望ましい。</p> <p>吊材に溶接部の開口が確認される。品質の経年変化及び歩行者、風等による荷重、振動の影響によると推察される。将来的に接合部の破断により吊り材が機能を消失すると、一部であっても耐荷力が大きく低下し、橋全体の安全性にも影響を及ぼすことが懸念されるため、速やかに補修を行うことが望ましい。</p> <p>横桁、縦桁の接合部ボルトにゆるみが確認される。振動の影響によると推察され、今後、その他部位への損傷の影響が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。</p> <p>縦桁、吊材、塔柱、耐風索、サドルに、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。</p> <p>床版:損傷なし。</p> <p>下部構造:塔部基礎の打ち継ぎ目に、施工不良によると推察される遊離石灰が生じている。錆汁は、視認されない。状況に応じて補修等を行うことが望ましい。</p> <p>塔部基礎上面に、うきが確認される。かぶり不足及び締固め不足が原因と推察される。内部鉄筋の腐食が懸念される。状況に応じて補修等を行うことが望ましい。</p> <p>塔部基礎に、水平方向のひび割れが確認される。乾燥収縮に起因し、雨水等の影響を受け進行したものと推察される。状況に応じて補修等を行うことが望ましい。</p> <p>支承部:損傷なし。</p> <p>その他:親柱基部に、腐食による孔食が確認される。又、防護柵接続ボルトの脱落が確認される。歩行者の転落の恐れがあると思われる為、補修等を行うことが望ましい。</p>				

点検調書(その2) 径間別一般図	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キタガハシ 北川橋	路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至			



点検調書(その3) 現地状況写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キダワハシ 北川橋	路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自		調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合	至				

現 地 状 況 写 真	写真番号	1	撮影年月日	2017年11月1日	写真番号	2	撮影年月日	2017年11月1日
	径間番号	1	メ モ		径間番号	1	メ モ	
	写真説明	正面		起点から終点を望む	写真説明	橋面		起点から終点を望む
								
	写真番号	3	撮影年月日	2017年11月1日	写真番号	4	撮影年月日	2017年11月1日
	径間番号	1	メ モ		径間番号	1	メ モ	
	写真説明	側面		上流側から撮影 (起点:写真右側)	写真説明	側面		下流側から撮影 (起点:写真左側)
								

点検調書(その3) 現地状況写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キタガハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至					

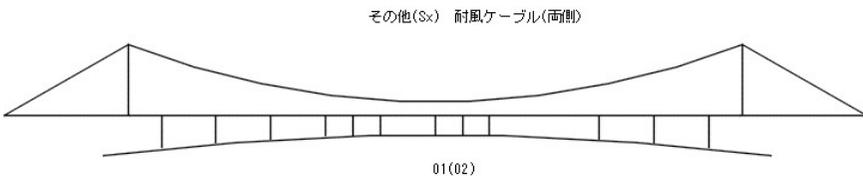
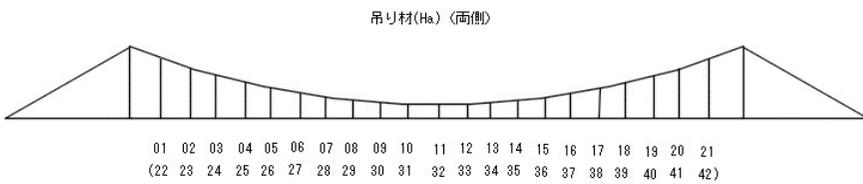
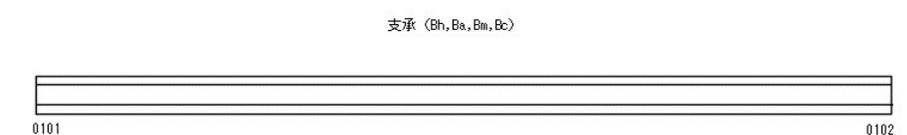
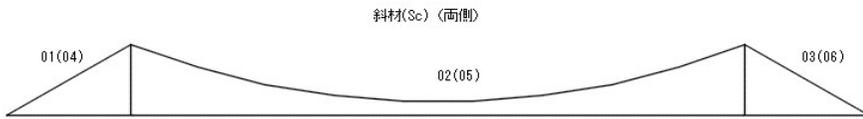
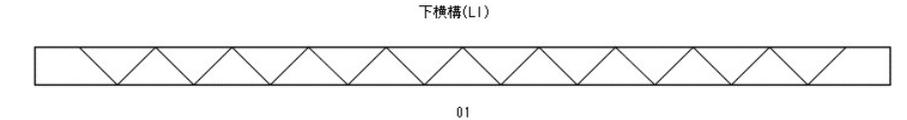
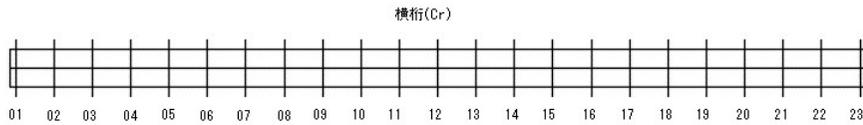
現 地 状 況 写 真	写真番号	5		撮影年月日	2017年11月1日		写真番号	6		撮影年月日	2017年11月1日	
	径間番号	1		メ モ		径間番号	1		メ モ			
	写真説明	桁下		起点から終点を望む		写真説明	作業状況					
												
	写真番号			撮影年月日			写真番号			撮影年月日		
	径間番号			メ モ		径間番号			メ モ			
写真説明					写真説明							

点検調書(その4) 要素番号図及び部材番号図	径間番号	1
------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キタワシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至				

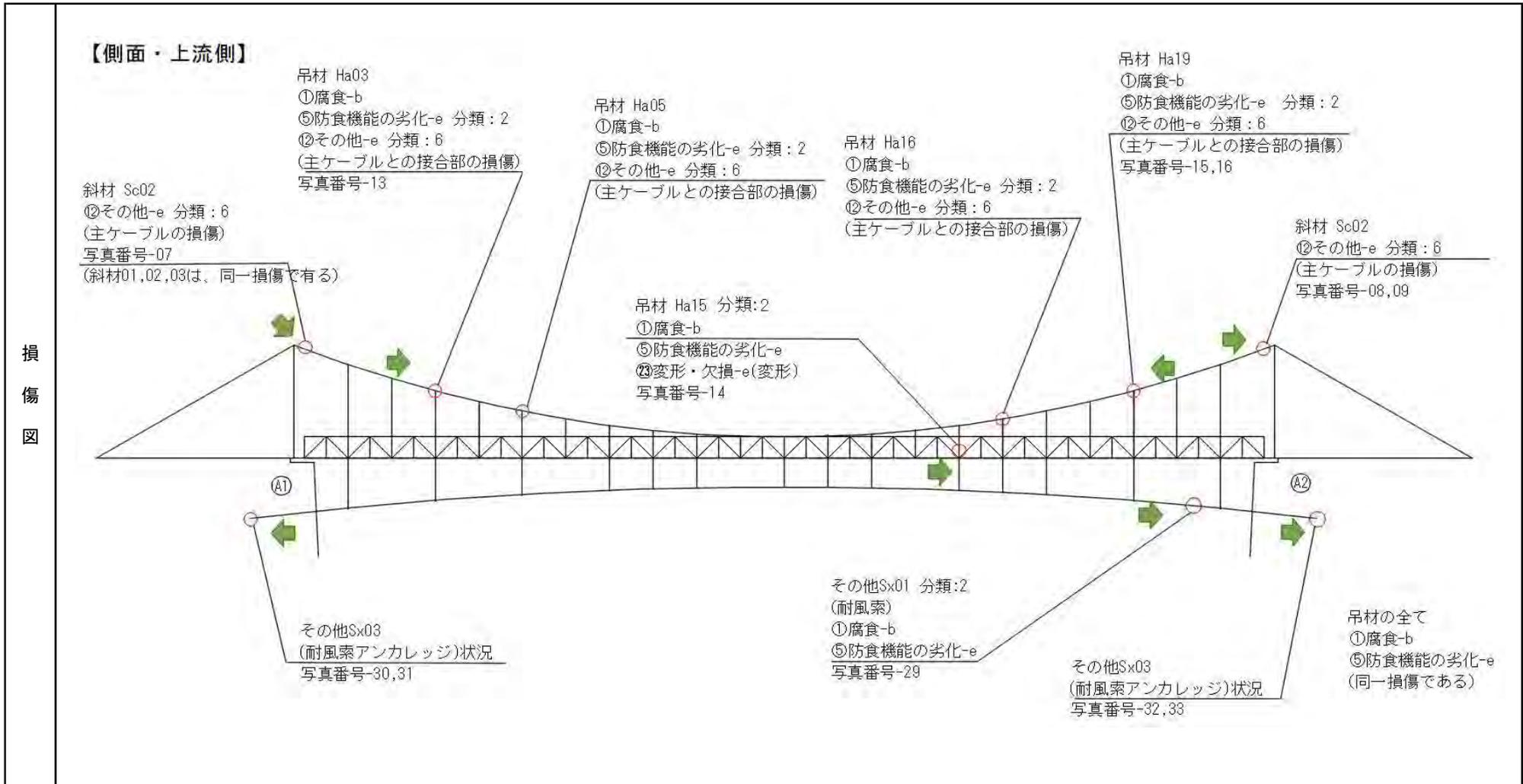
【部材番号】



要素番号図及び部材番号図

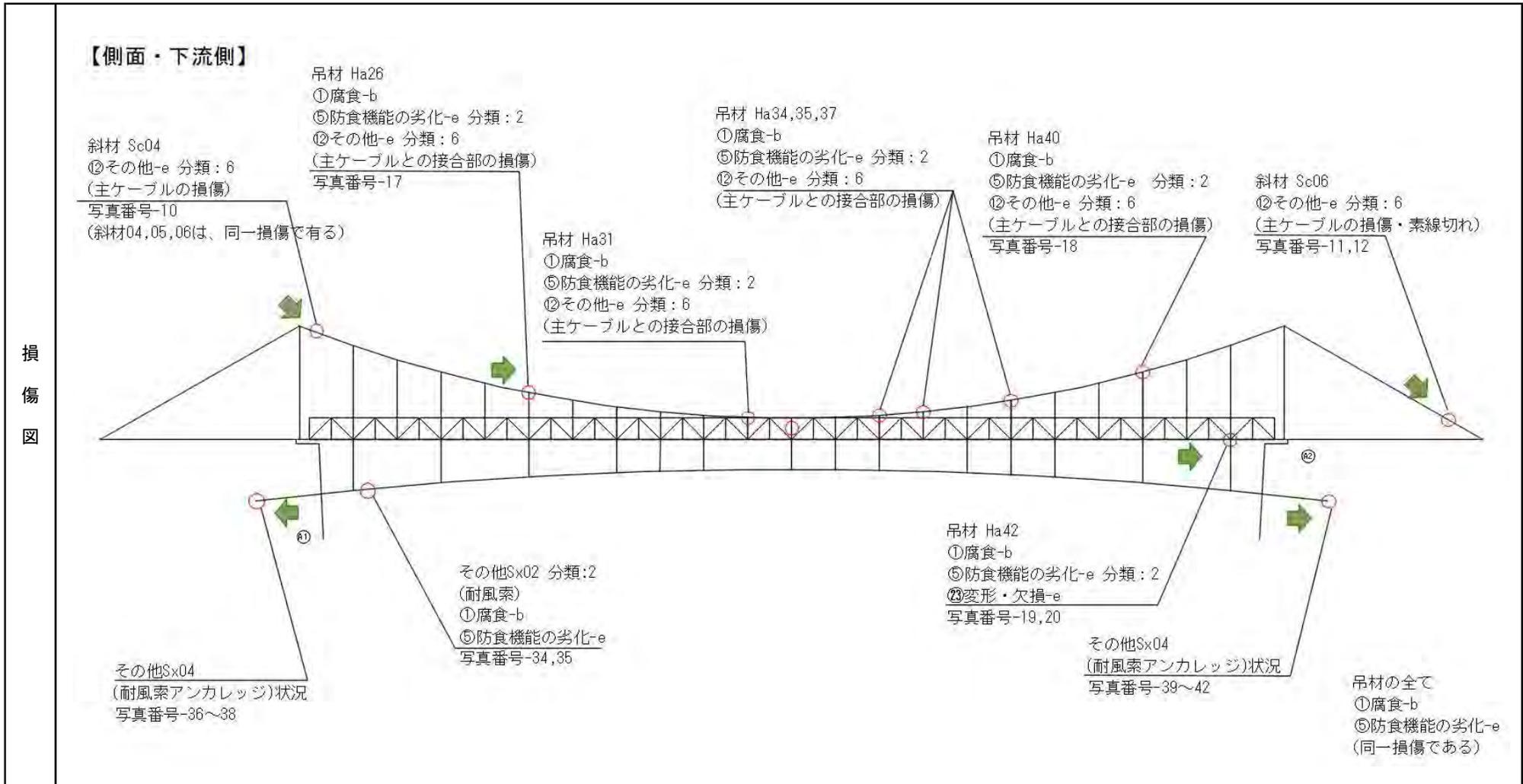
点検調書(その5) 損傷図	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キダワハシ 北川橋	路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	自				調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合	至		最新点検年月日	2017年11月1日		



点検調書(その5) 損傷図	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キタガハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		



点検調書(その5) 損傷図	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キダワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

【桁下】

横桁 Cr04 分類:1
 ①腐食-c
 ③ゆるみ・脱落-e(ゆるみ)
 ⑤防食機能の劣化-e
 写真番号-01

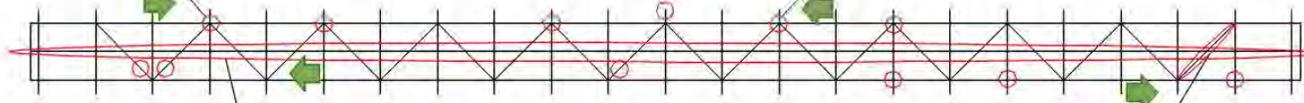
下横構 LI 分類:1
 ①腐食-c
 ③ゆるみ・脱落-e(ゆるみ)
 ⑤防食機能の劣化-e
 写真番号-03,04

縦桁 St02 分類:1
 ①腐食-c
 ⑤防食機能の劣化-e
 写真番号-02 (01,03も同一損傷である)

下横構 LI 分類:1
 ①腐食-c
 ⑤防食機能の劣化-e
 ②変形・欠損-c(変形)
 写真番号-05,06

横桁 Cr01~23
 ①腐食-c
 ⑤防食機能の劣化-e
 (同一損傷である)

損
傷
図



点検調書(その5) 損傷図	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キダワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

損傷図

【橋面】

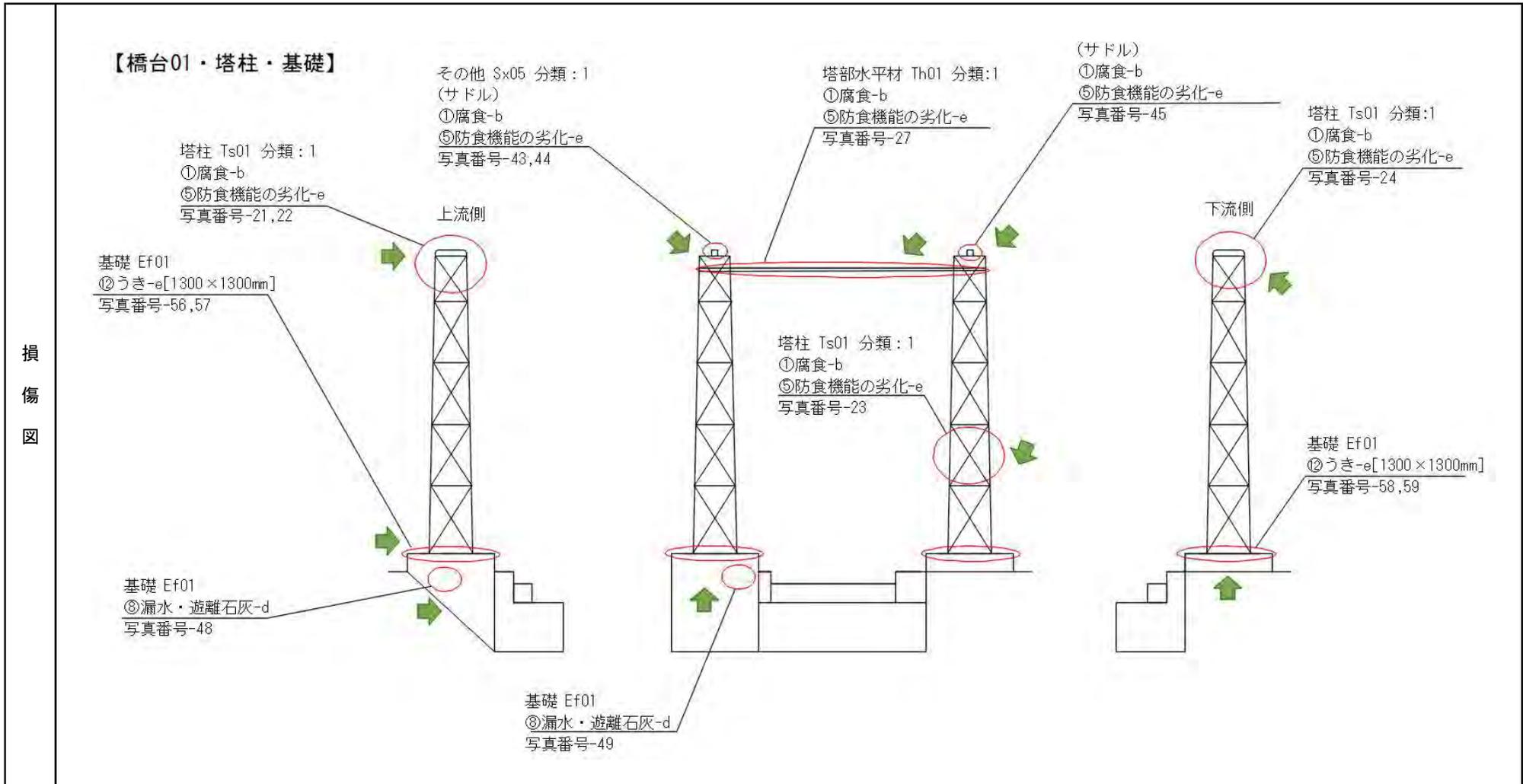
防護柵 Gf01 分類:1
①腐食-e
⑤防食機能の劣化-e
写真番号-63,64

防護柵 Gf02 分類:1
③ゆるみ・脱落-e(脱落)
写真番号-65,66

防護柵 Gf02 分類:1
①腐食-d
⑤防食機能の劣化-e
写真番号-67
(01も同一損傷である)

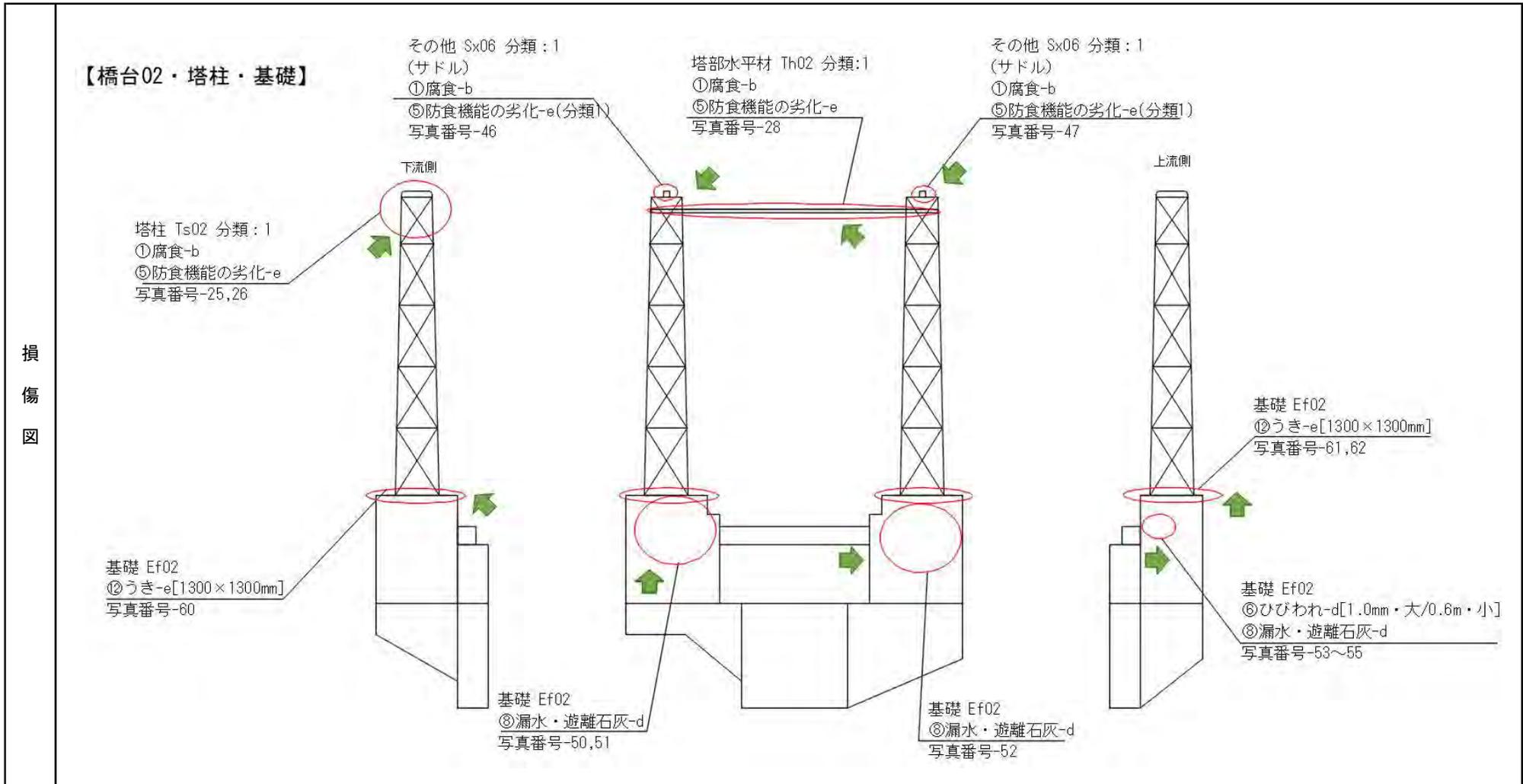
点検調書(その5) 損傷図	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キタワハシ 北川橋	路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合	至		最新点検年月日	2017年11月1日	



点検調書(その5) 損傷図	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キダワハシ 北川橋	路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合	至		最新点検年月日	2017年11月1日	



点検調書(その6) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キタノハシ 北川橋	路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合	至			最新点検年月日	2017年11月1日

損傷写真	写真番号	1	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	2	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	横桁	部材番号	01	メ モ		部材名	縦桁	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	ゆるみ・脱落-e 防食機能の劣化-e 分類:1 [損傷:小 / 面積:大]		損傷の種類	腐食	損傷程度	c	防食機能の劣化-e 分類:1 [損傷:小 / 面積:大]	
				横桁に、表面的な腐食が確認される。板厚減少は視認できない。 また、横桁、縦桁の接合部ボルトにゆるみが確認される。						縦桁に、表面的な腐食が全域に確認される。板厚減少は視認できない。		
	写真番号	3	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	4	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	横構(下横構)	部材番号	01	メ モ		部材名	横構(下横構)	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	ゆるみ・脱落-e 防食機能の劣化-e 分類:1 [損傷:小 / 面積:大]		損傷の種類	腐食	損傷程度	c	写真-03 近景	
				横構に、表面的な腐食が確認される。板厚減少は視認できない。 また、横桁、下横構の接合部ボルトにゆるみが確認される。								

点検調書(その6) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キタノハシ 北川橋	路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合	至			最新点検年月日	2017年11月1日

損傷写真	写真番号	5	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	6	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	横構(下横構)	部材番号	01	メ モ		部材名	横構(下横構)	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	防食機能の劣化-e 分類:1 [損傷:小 / 面積:大] 変形・欠損-c		損傷の種類	腐食	損傷程度	c	写真-05 近景	
					下横構に、表面的な腐食が全体的に確認される。板厚減少は視認できない。また、変形も確認される。							
	写真番号	7	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	8	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	斜材	部材番号	02	メ モ		部材名	斜材	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	その他(主ケーブルの損傷)	損傷程度	e	その他-e 分類:6(主ケーブルの損傷)		損傷の種類	その他(主ケーブルの損傷)	損傷程度	e	その他-e 分類:6(主ケーブルの損傷)	
					斜材に、表面的な腐食が部分的に確認される。著しい膨張は視認できない。						斜材に、表面的な腐食が部分的に確認される。著しい膨張は視認できない。	

点検調書(その6) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋	路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合	至			最新点検年月日	2017年11月1日

損傷写真	写真番号	9	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	10	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	斜材	部材番号	02	メ モ		部材名	斜材	部材番号	05	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	写真-08 近景		損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:2 その他-e 分類:6(主ケーブルの損傷)	
												
	写真番号	11	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	12	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	斜材	部材番号	06	メ モ		部材名	斜材	部材番号	06	メ モ	
	損傷の種類	その他(主ケーブルの損傷)	損傷程度	e	その他-e 分類:6(主ケーブルの損傷)		損傷の種類	その他(主ケーブルの損傷)	損傷程度	e	写真-11 近景	
									斜材に、表面的な腐食が部分的に確認される。著しい膨張は視認できない。また、局所的な素線切れが確認される。			

点検調書(その6) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キタワハシ 北川橋	路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合	至			最新点検年月日	2017年11月1日

損傷写真	写真番号	13	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	14	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	吊材	部材番号	03	メ モ		部材名	吊材	部材番号	15	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:2 変形・欠損-e その他-e 分類:6(主ケーブルとの接合部の損傷)		損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:2 変形・欠損-e	
				吊材に、表面的な腐食が部分的に確認される。著しい膨張は視認できない。また、変形による溶接部の開口が確認される。					吊材に、表面的な腐食が部分的に確認される。著しい膨張は視認できない。また、変形が生じている。			
	写真番号	15	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	16	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	吊材	部材番号	19	メ モ		部材名	吊材	部材番号	19	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:2 変形・欠損-e その他-e 分類:6(主ケーブルとの接合部の損傷)		損傷の種類	腐食	損傷程度	b	写真-15 近景	
				吊材に、表面的な腐食が部分的に確認される。著しい膨張は視認できない。また、変形による溶接部の開口が確認される。								

点検調書(その6) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キタワシ 北川橋	路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合	至			最新点検年月日	2017年11月1日

損傷写真	写真番号	17	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	18	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	吊材	部材番号	26	メ モ		部材名	吊材	部材番号	40	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:2 変形・欠損-e その他-e 分類:6(主ケーブルとの接合部の損傷)		損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:2 変形・欠損-e その他-e 分類:6(主ケーブルとの接合部の損傷)	
				吊材に、表面的な腐食が部分的に確認される。著しい膨張は視認できない。また、変形による溶接部の開口が確認される。					吊材に、表面的な腐食が部分的に確認される。著しい膨張は視認できない。また、変形による溶接部の開口が確認される。			
	写真番号	19	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	20	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	吊材	部材番号	42	メ モ		部材名	吊材	部材番号	42	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:2 変形・欠損-e		損傷の種類	腐食	損傷程度	b	写真-19 近景	
				吊材に、表面的な腐食が部分的に確認される。著しい膨張は視認できない。また、変形が生じている。								

点検調書(その6) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キタワシ 北川橋	路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合	至			最新点検年月日	2017年11月1日

損傷写真	写真番号	21	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	22	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	
	部材名	塔柱	部材番号	01	メ	モ	部材名	塔柱	部材番号	01	メ	モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:1			損傷の種類	腐食	損傷程度	b	写真-21 近景	
			塔柱に、表面的な腐食が部分的に確認される。著しい板厚減少は視認できない。										
	写真番号	23	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	24	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	
	部材名	塔柱	部材番号	01	メ	モ	部材名	塔柱	部材番号	01	メ	モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:1			損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:1	
			塔柱に、表面的な腐食が部分的に確認される。著しい板厚減少は視認できない。					塔柱に、表面的な腐食が部分的に確認される。著しい板厚減少は視認できない。					

点検調書(その6) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キタノハシ 北川橋	路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合	至			最新点検年月日	2017年11月1日

損傷写真	写真番号	25	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	26	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	
	部材名	塔柱	部材番号	02	メ	モ	部材名	塔柱	部材番号	02	メ	モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:1			損傷の種類	腐食	損傷程度	b	写真-25 近景	
			塔柱に、表面的な腐食が部分的に確認される。著しい板厚減少は視認できない。										
	写真番号	27	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	28	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	
	部材名	塔部水平材	部材番号	01	メ	モ	部材名	塔部水平材	部材番号	02	メ	モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:1			損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:1	
			塔部水平材に、表面的な腐食が部分的に確認される。著しい板厚減少は視認できない。							塔部水平材に、表面的な腐食が部分的に確認される。著しい板厚減少は視認できない。			

点検調書(その6) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キタワシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至			最新点検年月日	2017年11月1日	

損傷写真	写真番号	29	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	30	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	その他(耐風索)	部材番号	01	メ モ		部材名	その他(アンカレッジ)	部材番号	03	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:2 (左岸・上流側)		損傷の種類		損傷程度	a	耐風索アンカレッジ状況 (右岸・上流側)	
				耐風索に、表面的な腐食が部分的に確認される。著しい膨張は視認できない。					損傷なし			
	写真番号	31	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	32	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	その他(アンカレッジ)	部材番号	03	メ モ		部材名	その他(アンカレッジ)	部材番号	03	メ モ	
	損傷の種類		損傷程度	a	耐風索アンカレッジ状況 (右岸・上流側)		損傷の種類		損傷程度	a	耐風索アンカレッジ状況 (左岸・上流側)	
				損傷なし					損傷なし			

点検調書(その6) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋	路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合	至			最新点検年月日	2017年11月1日

損傷写真	写真番号	33	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	34	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	その他(アンカレッジ)	部材番号	03	メ モ		部材名	その他(耐風索)	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類		損傷程度	a	耐風索アンカレッジ状況 (左岸・上流側)		損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:2 (右岸・下流側)	
				損傷なし					耐風索に、表面的な腐食が部分的に確認される。著しい膨張は視認できない。			
	写真番号	35	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	36	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	その他(耐風索)	部材番号	02	メ モ		部材名	その他(アンカレッジ)	部材番号	04	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	写真-34 近景		損傷の種類		損傷程度	a	耐風索アンカレッジ状況 (右岸・下流側)	
									損傷なし			

点検調書(その6) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キタワシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至			最新点検年月日	2017年11月1日	

損傷写真	写真番号	37	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	38	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	その他(アンカレッジ)	部材番号	04	メ モ		部材名	その他(アンカレッジ)	部材番号	04	メ モ	
	損傷の種類		損傷程度	a	耐風索アンカレッジ状況 (右岸・下流側)		損傷の種類		損傷程度	a	耐風索アンカレッジ状況 (右岸・下流側)	
				損傷なし					損傷なし			
	写真番号	39	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	40	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	その他(アンカレッジ)	部材番号	04	メ モ		部材名	その他(アンカレッジ)	部材番号	04	メ モ	
	損傷の種類		損傷程度	a	耐風索アンカレッジ状況 (左岸・下流側)		損傷の種類		損傷程度	a	耐風索アンカレッジ状況 (左岸・下流側)	
				損傷なし					損傷なし			

点検調書(その6) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キタワシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至			最新点検年月日	2017年11月1日	

損傷写真	写真番号	41	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	42	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	その他(アンカレッジ)	部材番号	04	メ モ		部材名	その他(アンカレッジ)	部材番号	04	メ モ	
	損傷の種類		損傷程度	a	耐風索アンカレッジ状況 (左岸・下流側)		損傷の種類		損傷程度	a	耐風索アンカレッジ状況 (左岸・下流側)	
				損傷なし					損傷なし			
	写真番号	43	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	44	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	その他(サドル)	部材番号	05	メ モ		部材名	その他(サドル)	部材番号	05	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:1		損傷の種類	腐食	損傷程度	b	写真-43 近景	
				(右岸・上流側) 塔部サドルに、表面的な腐食が部分的に確認される。著しい膨張は視認できない。								

点検調書(その6) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋	路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合	至			最新点検年月日	2017年11月1日

損傷写真	写真番号	45	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	46	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	その他(サドル)	部材番号	05	メ モ		部材名	その他(サドル)	部材番号	06	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:1		損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:1	
				(右岸・下流側) 塔部サドルに、表面的な腐食が部分的に確認される。著しい膨張は視認できない。					(左岸・下流側) 塔部サドルに、表面的な腐食が部分的に確認される。著しい膨張は視認できない。			
	写真番号	47	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	48	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	その他(サドル)	部材番号	06	メ モ		部材名	下部工(基礎)	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:1		損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	打ち継ぎ目に遊離石灰が生じている。錆汁は、視認されない。	
				(左岸・上流側) 塔部サドルに、表面的な腐食が部分的に確認される。著しい膨張は視認できない。								

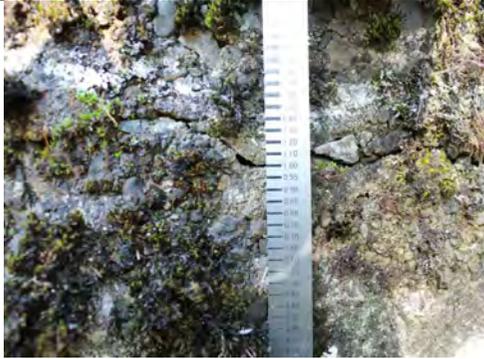
点検調書(その6) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至			最新点検年月日	2017年11月1日	

損傷写真	写真番号	49	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	50	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	下部工(基礎)	部材番号	01	メ モ		部材名	下部工(基礎)	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	打ち継ぎ目に遊離石灰が生じている。錆汁は、視認されない。		損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	遊離石灰が生じている。錆汁は、視認されない。	
												
	写真番号	51	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	52	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	下部工(基礎)	部材番号	02	メ モ		部材名	下部工(基礎)	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	写真-50 近景		損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	遊離石灰が生じている。錆汁は、視認されない。	
												

点検調書(その6) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋	路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合	至			最新点検年月日	2017年11月1日

損傷写真	写真番号	53	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	54	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	下部工(基礎)	部材番号	02	メ モ		部材名	下部工(基礎)	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(3)	塔柱基礎部上流側面にひび割れが確認される。 [1.0mm・大/0.6m・小]		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(3)	写真-53 近景	
												
	写真番号	55	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	56	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	下部工(基礎)	部材番号	02	メ モ		部材名	下部工(基礎)	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	遊離石灰が生じている。錆汁は、視認されない。		損傷の種類	うき	損傷程度	e	塔柱基礎上面に、うきが確認される。(右岸・上流側) [1.3m X 1.3m]	
												

点検調書(その6) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至			最新点検年月日	2017年11月1日	

損傷写真	写真番号	57	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	58	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	下部工(基礎)	部材番号	01	メ モ		部材名	下部工(基礎)	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	うき	損傷程度	e	写真-56 近景		損傷の種類	うき	損傷程度	e	塔柱基礎上面に、うきが確認される。 (右岸・下流側) [1.3m X 1.3m]	
												
	写真番号	59	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	60	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	下部工(基礎)	部材番号	01	メ モ		部材名	下部工(基礎)	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	うき	損傷程度	e	写真-58 近景		損傷の種類	うき	損傷程度	e	塔柱基礎上面に、うきが確認される。 (左岸・下流側) [1.3m X 1.3m]	
												

点検調書(その6) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キタノハシ 北川橋	路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合	至			最新点検年月日	2017年11月1日

損傷写真	写真番号	61	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	62	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	下部工(基礎)	部材番号	02	メ モ		部材名	下部工(基礎)	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	うき	損傷程度	e	塔柱基礎上面に、うきが確認される。 (左岸・上流側) [1.3m X 1.3m]		損傷の種類	うき	損傷程度	e	写真-61 近景	
												
	写真番号	63	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	64	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	e	防護柵に腐食が確認され、基礎部では、孔食が生じている。		損傷の種類	腐食	損傷程度	e	写真-63 近景	
												

点検調書(その6) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キタノハシ 北川橋	路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合	至			最新点検年月日	2017年11月1日

損傷写真	写真番号	65	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号	66	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1
	部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e	防護柵接続ボルトの脱落が確認される。		損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e	写真-65 近景	
												
	写真番号	67	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/1	写真番号		径間番号		撮影年月日	
	部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ		部材名		部材番号		メ モ	
損傷の種類	腐食	損傷程度	d	防食機能の劣化-e		損傷の種類		損傷程度				
				防護柵に表面の著しい膨張を伴う腐食が、局部的に確認される。								

点検調書(その9) 損傷程度の評価結果総括	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キタワハシ 北川橋	路線名	川合川西1号線			管轄		橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自				調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至				最新点検年月日	2017年11月1日

工種	材料	部材種別			今回定期点検	点検日	2017年11月1日	前回定期点検	点検日	年月日
		名称	記号	部材番号	損傷の種類(程度)			損傷の種類(程度)		
S	S	横桁	Cr	01	腐食(c),ゆるみ・脱落(e),防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	02	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	03	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	04	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	05	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	06	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	07	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	08	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	09	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	10	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	11	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	12	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	13	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	14	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	15	腐食(c),防食機能の劣化(e)					

点検調書(その9) 損傷程度の評価結果総括	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キタワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線			管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自				調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至				最新点検年月日	2017年11月1日

工種	材料	部材種別			今回定期点検	点検日	2017年11月1日	前回定期点検	点検日	年月日
		名称	記号	部材番号	損傷の種類(程度)			損傷の種類(程度)		
S	S	横桁	Cr	16	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	17	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	18	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	19	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	20	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	21	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	22	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	23	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	縦桁	St	01	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	縦桁	St	02	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	縦桁	St	03	腐食(c),防食機能の劣化(e)					
S	S	横構	LI	00	腐食(c),ゆるみ・脱落(e),防食機能の劣化(e),変形・欠損(c)					
S	S	斜材	Sc	01	その他(e)					
S	S	斜材	Sc	02	その他(e)					
S	S	斜材	Sc	03	その他(e)					

点検調書(その9) 損傷程度の評価結果総括	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キタワハシ 北川橋	路線名	川合川西1号線			管轄		橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自				調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至				最新点検年月日	2017年11月1日

工種	材料	部材種別			今回定期点検	点検日	2017年11月1日	前回定期点検	点検日	年月日
		名称	記号	部材番号	損傷の種類(程度)		損傷の種類(程度)			
S	S	斜材	Sc	04	その他(e)					
S	S	斜材	Sc	05	その他(e)					
S	S	斜材	Sc	06	その他(e)					
S	S	吊材	Ha	01	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	02	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	03	腐食(b),防食機能の劣化(e),その他(e)					
S	S	吊材	Ha	04	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	05	腐食(b),防食機能の劣化(e),その他(e)					
S	S	吊材	Ha	06	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	07	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	08	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	09	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	10	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	11	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	12	腐食(b),防食機能の劣化(e)					

点検調書(その9) 損傷程度の評価結果総括	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キタワハシ 北川橋	路線名	川合川西1号線			管轄		橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至			最新点検年月日	2017年11月1日	

工種	材料	部材種別			今回定期点検	点検日	2017年11月1日	前回定期点検	点検日	年月日
		名称	記号	部材番号	損傷の種類(程度)			損傷の種類(程度)		
S	S	吊材	Ha	13	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	14	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	15	腐食(b),防食機能の劣化(e),変形・欠損(e)					
S	S	吊材	Ha	16	腐食(b),防食機能の劣化(e),その他(e)					
S	S	吊材	Ha	17	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	18	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	19	腐食(b),防食機能の劣化(e),その他(e)					
S	S	吊材	Ha	20	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	21	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	22	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	23	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	24	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	25	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	26	腐食(b),防食機能の劣化(e),その他(e)					
S	S	吊材	Ha	27	腐食(b),防食機能の劣化(e)					

点検調書(その9) 損傷程度の評価結果総括	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"		

フリガナ 橋梁名	キタワハシ 北川橋	路線名	川合川西1号線			管轄		橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自				調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至				最新点検年月日	2017年11月1日

工種	材料	部材種別			今回定期点検	点検日	2017年11月1日	前回定期点検	点検日	年月日
		名称	記号	部材番号	損傷の種類(程度)			損傷の種類(程度)		
S	S	吊材	Ha	28	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	29	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	30	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	31	腐食(b),防食機能の劣化(e),その他(e)					
S	S	吊材	Ha	32	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	33	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	34	腐食(b),防食機能の劣化(e),その他(e)					
S	S	吊材	Ha	35	腐食(b),防食機能の劣化(e),その他(e)					
S	S	吊材	Ha	36	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	37	腐食(b),防食機能の劣化(e),その他(e)					
S	S	吊材	Ha	38	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	39	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	40	腐食(b),防食機能の劣化(e),その他(e)					
S	S	吊材	Ha	41	腐食(b),防食機能の劣化(e)					
S	S	吊材	Ha	42	腐食(b),防食機能の劣化(e),変形・欠損(e)					

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷						
S	S	横桁	Cr	01	c	c		腐食									⑥材料劣化	II	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	01	e	e		ゆるみ・脱落										II	横桁、縦桁の接合部ボルトにゆるみが確認される。歩行者、風等による振動の影響によると推察され、今後、その他部位への損傷の影響が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	01	e	e		防食機能の劣化									⑥材料劣化	II	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	02	c	c		腐食									⑥材料劣化	II	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日	

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷					
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷		更新	区分E1 の損傷							更新
S	S	横桁	Cr	02	e	e											⑥材料劣化	II	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	03	c	c											⑥材料劣化	II	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	03	e	e											⑥材料劣化	II	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	04	c	c											⑥材料劣化	II	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷						
S	S	横桁	Cr	04	e	e												Ⅱ	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	05	c	c												Ⅱ	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	05	e	e												Ⅱ	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	06	c	c												Ⅱ	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷					
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷		更新	区分E1 の損傷							更新
S	S	横桁	Cr	06	e	e											⑥材料劣化	II	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	07	c	c											⑥材料劣化	II	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	07	e	e											⑥材料劣化	II	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	08	c	c											⑥材料劣化	II	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷						
S	S	横桁	Cr	08	e	e												Ⅱ	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	09	c	c												Ⅱ	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	09	e	e												Ⅱ	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	10	c	c												Ⅱ	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷					
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷		更新	区分E1 の損傷							更新
S	S	横桁	Cr	10	e	e												Ⅱ	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	11	c	c												Ⅱ	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	11	e	e												Ⅱ	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	12	c	c												Ⅱ	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷						
S	S	横桁	Cr	12	e	e												II	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	13	c	c												II	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	13	e	e												II	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	14	c	c												II	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日	

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷					
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷		更新	区分E1 の損傷							更新
S	S	横桁	Cr	14	e	e												Ⅱ	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	15	c	c												Ⅱ	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	15	e	e												Ⅱ	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	16	c	c												Ⅱ	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷						
S	S	横桁	Cr	16	e	e												Ⅱ	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	17	c	c												Ⅱ	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	17	e	e												Ⅱ	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	18	c	c												Ⅱ	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷						
S	S	横桁	Cr	18	e	e												Ⅱ	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	19	c	c												Ⅱ	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	19	e	e												Ⅱ	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	20	c	c												Ⅱ	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷						
S	S	横桁	Cr	20	e	e												Ⅱ	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	21	c	c												Ⅱ	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	21	e	e												Ⅱ	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	22	c	c												Ⅱ	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷						
S	S	横桁	Cr	22	e	e												Ⅱ	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	23	c	c												Ⅱ	横桁に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材との接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	23	e	e												Ⅱ	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	縦桁	St	01	c	c												Ⅰ	縦桁全体に表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷					
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷		更新	区分E1 の損傷							更新
S	S	縦桁	St	01	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	縦桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	縦桁	St	02	c	c	腐食										⑥材料劣化	I	縦桁全体に表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	縦桁	St	02	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	縦桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	縦桁	St	03	c	c	腐食										⑥材料劣化	I	縦桁全体に表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キタワシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見		
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定				
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷	
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分E1 の損傷	更新							区分E2 の損傷
S	S	縦桁	St	03	e	e											⑥材料劣化	I	縦桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	
S	S	斜材	Sc	01	e	e												⑥材料劣化	Ⅲ	主ケーブルに表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響が原因である。主ケーブルの腐食は橋全体の健全性に大きく影響し、振動や伸縮の繰り返しも加担することで破断に繋がりが、重大事故を引き起こすことが懸念されるため、速やかに補修を行うことが望ましい。
S	S	斜材	Sc	02	e	e												⑥材料劣化	Ⅲ	主ケーブルに表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響が原因である。主ケーブルの腐食は橋全体の健全性に大きく影響し、振動や伸縮の繰り返しも加担することで破断に繋がりが、重大事故を引き起こすことが懸念されるため、速やかに補修を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷					
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷		更新	区分E1 の損傷							更新
S	S	斜材	Sc	03	e	e												Ⅲ	主ケーブルに表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響が原因である。主ケーブルの腐食は橋全体の健全性に大きく影響し、振動や伸縮の繰り返しも加担することで破断に繋がり、重大事故を引き起こすことが懸念されるため、速やかに補修を行うことが望ましい。
S	S	斜材	Sc	04	e	e												Ⅲ	主ケーブルに表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響が原因である。主ケーブルの腐食は橋全体の健全性に大きく影響し、振動や伸縮の繰り返しも加担することで破断に繋がり、重大事故を引き起こすことが懸念されるため、速やかに補修を行うことが望ましい。
S	S	斜材	Sc	05	e	e												Ⅲ	主ケーブルに表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響が原因である。主ケーブルの腐食は橋全体の健全性に大きく影響し、振動や伸縮の繰り返しも加担することで破断に繋がり、重大事故を引き起こすことが懸念されるため、速やかに補修を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キタワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷						
S	S	斜材	Sc	06	e	e												Ⅲ	主ケーブルに表面的な腐食及び局所的な素線切れが確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響が原因である。主ケーブルの腐食は橋全体の健全性に大きく影響し、振動や伸縮の繰り返しも加担することで破断に繋がりが、重大事故を引き起こすことが懸念されるため、速やかに補修を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	01	b	b	腐食											Ⅰ	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	01	e	e	防食機能の劣化											Ⅰ	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	02	b	b	腐食											Ⅰ	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見		
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定				
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷	
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷							更新
S	S	吊材	Ha	02	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	
S	S	吊材	Ha	03	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	
S	S	吊材	Ha	03	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	
S	S	吊材	Ha	03	e	e												⑦疲労	Ⅲ	溶接部の開口が確認される。品質の経年変化及び歩行者、風等による荷重、振動の影響によると推察される。将来的に接合部の破断により吊り材が機能を消失すると、一部であっても耐荷力が大きく低下し、橋全体の安全性にも影響を及ぼすことが懸念されるため、速やかに補修を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定		
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷				
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分E1 の損傷	更新					
S	S	吊材	Ha	04	b	b	腐食									⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	04	e	e	防食機能の劣化									⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	05	b	b	腐食									⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	05	e	e	防食機能の劣化									⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定		
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷				
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分E1 の損傷	更新					
S	S	吊材	Ha	07	b	b	腐食									⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	07	e	e	防食機能の劣化									⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	08	b	b	腐食									⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	08	e	e	防食機能の劣化									⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定		
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷				
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分E1 の損傷	更新					
S	S	吊材	Ha	09	b	b	腐食									⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	09	e	e	防食機能の劣化									⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	10	b	b	腐食									⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	10	e	e	防食機能の劣化									⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分E1 の損傷	更新						
S	S	吊材	Ha	11	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	11	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	12	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	12	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分E1 の損傷	更新						
S	S	吊材	Ha	13	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	13	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	14	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	14	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見		
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定				
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷	
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷							更新
S	S	吊材	Ha	15	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	
S	S	吊材	Ha	15	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	
S	S	吊材	Ha	15	e	e												①疲労	III	吊材の変形が確認される。品質の経年変化及び歩行者、風等による荷重、振動の影響によると推察される。今後、更に損傷の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	16	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キタワシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見		
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定				
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷	
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分E1 の損傷	更新							区分E2 の損傷
S	S	吊材	Ha	16	e	e											⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	
S	S	吊材	Ha	16	e	e												⑦疲労	Ⅲ	溶接部の開口が確認される。品質の経年変化及び歩行者、風等による荷重、振動の影響によると推察される。将来的に接合部の破断により吊り材が機能を消失すると、一部であっても耐荷力が大きく低下し、橋全体の安全性にも影響を及ぼすことが懸念されるため、速やかに補修を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	17	b	b												⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷						
S	S	吊材	Ha	17	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	18	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	18	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	19	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自				調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見		
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定				
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷	
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷							更新
S	S	吊材	Ha	19	e	e											⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	
S	S	吊材	Ha	19	e	e												⑦疲労	Ⅲ	溶接部の開口が確認される。品質の経年変化及び歩行者、風等による荷重、振動の影響によると推察される。将来的に接合部の破断により吊り材が機能を消失すると、一部であっても耐荷力が大きく低下し、橋全体の安全性にも影響を及ぼすことが懸念されるため、速やかに補修を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	20	b	b												⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定		
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷				
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分E1 の損傷	更新					
S	S	吊材	Ha	20	e	e	防食機能の劣化									⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	21	b	b	腐食									⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	21	e	e	防食機能の劣化									⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	22	b	b	腐食									⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷						
S	S	吊材	Ha	22	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	23	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	23	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	24	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷						
S	S	吊材	Ha	24	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	25	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	25	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	26	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日	

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定		
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷				
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分E1 の損傷	更新					
S	S	吊材	Ha	26	e	e	防食機能の劣化									⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	26	e	e										⑦疲労	III	溶接部の開口が確認される。品質の経年変化及び歩行者、風等による荷重、振動の影響によると推察される。将来的に接合部の破断により吊り材が機能を消失すると、一部であっても耐荷力が大きく低下し、橋全体の安全性にも影響を及ぼすことが懸念されるため、速やかに補修を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	27	b	b	腐食									⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷						
S	S	吊材	Ha	27	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	28	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	28	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	29	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷						
S	S	吊材	Ha	29	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	30	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	30	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	31	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キタワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見		
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定				
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷	
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分E1 の損傷	更新							区分E2 の損傷
S	S	吊材	Ha	31	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	
S	S	吊材	Ha	31	e	e												⑦疲労	III	溶接部の開口が確認される。品質の経年変化及び歩行者、風等による荷重、振動の影響によると推察される。将来的に接合部の破断により吊り材が機能を消失すると、一部であっても耐荷力が大きく低下し、橋全体の安全性にも影響を及ぼすことが懸念されるため、速やかに補修を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	32	b	b	腐食											⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷						
S	S	吊材	Ha	32	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	33	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	33	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	34	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キタワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日	

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見		
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定				
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷	
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分E1 の損傷	更新							区分E2 の損傷
S	S	吊材	Ha	34	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	
S	S	吊材	Ha	34	e	e												⑦疲労	III	溶接部の開口が確認される。品質の経年変化及び歩行者、風等による荷重、振動の影響によると推察される。将来的に接合部の破断により吊り材が機能を消失すると、一部であっても耐荷力が大きく低下し、橋全体の安全性にも影響を及ぼすことが懸念されるため、速やかに補修を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	35	b	b	腐食											⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見		
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定				
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷	
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷							更新
S	S	吊材	Ha	35	e	e											⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	
S	S	吊材	Ha	35	e	e												⑦疲労	Ⅲ	溶接部の開口が確認される。品質の経年変化及び歩行者、風等による荷重、振動の影響によると推察される。将来的に接合部の破断により吊り材が機能を消失すると、一部であっても耐荷力が大きく低下し、橋全体の安全性にも影響を及ぼすことが懸念されるため、速やかに補修を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	36	b	b												⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キタワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷						
S	S	吊材	Ha	36	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	37	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	37	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分E1 の損傷	更新						
S	S	吊材	Ha	39	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	39	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	40	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	40	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷						
S	S	吊材	Ha	42	b	b	腐食									⑥材料劣化	I	吊材に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	
S	S	吊材	Ha	42	e	e	防食機能の劣化									⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	
S	S	吊材	Ha	42	e	e										①疲労	Ⅲ	吊材の変形が確認される。品質の経年変化及び歩行者、風等による荷重、振動の影響によると推察される。今後、更に損傷の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。	
S	S	塔柱	Ts	01	b	b	腐食									⑥材料劣化	I	塔柱に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分E1 の損傷	更新						
S	S	塔柱	Ts	01	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	塔柱全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	塔柱	Ts	02	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	塔柱に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	塔柱	Ts	02	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	塔柱全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	その他 (耐風索)	Sx	01	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	耐風索に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キタワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷						
S	S	その他 (耐風素)	Sx	01	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	耐風素全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	その他 (耐風素)	Sx	02	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	耐風素に、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	その他 (耐風素)	Sx	02	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	耐風素全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	その他 (サドル)	Sx	05	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	塔部サドルに、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷						
S	S	その他 (サドル)	Sx	05	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	塔部サドル全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	その他 (サドル)	Sx	06	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	塔部サドルに、表面的な腐食が確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。著しい腐食は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	その他 (サドル)	Sx	06	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	塔部サドル全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
A	C	下部工	Ef	01	d	d	漏水・遊離石灰										⑦その他 (施工不良)	I	塔部基礎の打ち継ぎ目に、遊離石灰が生じている。錆汁は、視認されない。施工不良によると推察される。今後、周辺の部材への影響が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1
-------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至		最新点検年月日	2017年11月1日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原因		健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷					区分S2 の損傷
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷						
A	C	下部工	Ef	01	e	e											⑦その他 (施工不良)	I	塔部基礎上面に、うきが確認される。かぶり不足及び締固め不足が原因と推察される。内部鉄筋の腐食が懸念される。状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
A	C	下部工	Ef	02	d	d											⑦その他 (乾燥収縮)	I	塔部基礎に、水平方向のひび割れが確認される。乾燥収縮に起因し、雨水等の影響を受け進行したものと推察される。状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
A	C	下部工	Ef	02	d	d											⑦その他 (施工不良)	I	塔部基礎の打ち継ぎ目に、遊離石灰が生じている。錆汁は、視認されない。施工不良によると推察される。今後、周辺の部材への影響が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
A	C	下部工	Ef	02	e	e											⑦その他 (施工不良)	I	塔部基礎上面に、うきが確認される。かぶり不足及び締固め不足が原因と推察される。内部鉄筋の腐食が懸念される。状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その11) 対策区分判定結果 (点検調書(その10)に記載以外の部材)	径間番号	1
---------------------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 7.800"	終点側	緯度	35° 31' 7.800"	橋梁ID
	経度	136° 14' 59.702"		経度	136° 14' 59.702"	

フリガナ 橋梁名	キカワハシ 北川橋		路線名	川合川西1号線		管轄	橋梁コード	22505500	
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町川合	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町川合		至			最新点検年月日	2017年11月1日	

工種	材料	部材種別		損傷の程度		対策区分								健全度 (部材単位)	所見	
		名称	記号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性				
						区分Bの損傷	区分Cの損傷			区分Mの損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷			区分S2 の損傷
							区分C1の損傷	区分C2の損傷			区分E1の損傷	区分E2の損傷				
S	S	横構	Li	c	c		腐食							II	下横構に、表面的な腐食が全体的に確認される。特に、他部材の接合部では、多くの腐食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。	
S	S	横構	Li	e	e		ゆるみ・脱落							II	下横構、横桁の接合部ボルトにゆるみが確認される。歩行者、風等による振動の影響によると推察され、今後、その他部位への損傷の影響が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。	
S	S	横構	Li	e	e		防食機能の劣化							II	下横構全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、補修等を行うことが望ましい。	
S	S	横構	Li	e	e	変形・欠損								I	局部的に、下横構が変形している。橋梁下面の工事等による損傷と推察され、補修等を行うことが望ましい。	
R	S	防護柵	Gf	e	d		腐食							II	防護柵に、表面の著しい膨張を伴う腐食が、局部的に確認される。親柱基部では、孔食が視認される。品質の経年変化及び雨水等の影響が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	

